

農村地域(大蔵村大蔵地域)と企業とのマッチング支援事業 企画提案評価基準

1 審査・選定方法

- (1) 評価項目、審査の視点及び配点は下記のとおり。
- (2) 審査の流れ
 - ① 審査は、提案者のプレゼンテーションにより行う。
 - ② 審査委員は下記に掲げる審査項目ごとに採点し、配点及び採点基準をもとに採点を行う。
 - ③ 各審査委員の審査結果を集計し、各審査委員の評価点の平均点が 60 点以上の企画のうち、点数の上位 1 者を最優秀提案者として選定し、すべての応募者に対して選定結果を通知する。
提案者が 1 者のみである場合でも、審査委員の評価結果（平均点 60 点以上）により、提案の内容について契約目的を十分に達成できるものであると判断できるときは、当該者を最優秀提案者として選定する。

2 配点及び採点基準

- (1) 審査項目ごとに 10 点満点で採点し、合計 100 点満点で判定を行うものとする。

評価項目		審査の視点	配点 (単位:点)
企画内容等	① 実施方針	・ 実施方針は、本事業の目的に合致したものであるか ・ 事業内容に関する理解度は高いか	10
	② 農村地域課題の明確化、農村地域の理解醸成	・ 課題を共有し、農村地域の意見を十分に引き出しながら明確化するための工夫ができているか ・ 企業の受入れに向け、農村地域に対し理解醸成のための効果的な取組を行うことができるか	10
	③ 企業とのマッチング支援	・ 農村地域と企業双方の理解を深めるための機会が提供され、その内容は工夫されたものとなっているか ・ 農村地域に寄り添ったアドバイス及び農村地域の意向を十分に汲んだ企業への伝達ができるか	10
	④ 取組みに関する情報発信	・ 利用する媒体及び発信の手法は、本事業の遂行にあたり効果が高いものとなっているか	10
	⑤ 独自提案	・ 事業効果を高める独自の提案があるか	10
業務遂行能力	⑥ 実施能力	・ 円滑な業務遂行に必要な体制や、業務分担が提案されているか ・ 農村地域とのつながりがあり、良好なコミュニケーションがとれるか	10
	⑦ 計画性	・ 事業計画に無理がなく、妥当なスケジュールであるか	10
	⑧ 類似業務の実績	・ 過去 3 年間に於いて類似の業務実績を有し、その経験を十分活かすことができるか ・ 実績がない場合でも、これまでの経験を活かした支援ができるか	10
経費	⑨ 妥当性	・ 事業の遂行に支障のない妥当な経費見積りであるか ・ 積算根拠は事業に必要な経費が明確に示されているか	10
	⑩ 優位性	・ 提案内容に比して、経費見積りが経済的であるか	10

- (2) 評価は 5 段階で行うものとし、評価点の採点基準は下表のとおりとする。

採点基準	評価点
優れている	9～10 点
やや優れている	7～8 点
妥当	5～6 点
やや劣っている	3～4 点
劣っている	1～2 点